

# 「hon.jp Web サービス API」

～URL の手引～

## はじめに

このたびは「hon.jp Web サービス API」についてご利用を検討いただきましてまことにありがとうございます。

「hon.jp Web サービス API」は、2005年12月に電子書籍検索サイト「hon.jp」をオープンした際に、hon.jp 開発スタッフの熱望（趣味？）により同時公開した開発者向け無料 XML サービスです。当時、まだ電子書籍そのものの存在が世間のネットユーザーはおろか業界内の IT 責任者たちからも理解されず、問答無用で拒絶されていた時代でした。

そのような環境下において、単に検索サイトを公開するだけはその利便性を理解してもらえないという判断から、米 Amazon.com のように DB そのものを HTTP&XML 形式で無料ネット公開することにしました。それが「hon.jp Web サービス API」でした。

「hon.jp Web サービス API」の概要および仕様・メソッド・コード例などについては、別途解説ページ（[http://hon.jp/doc/about\\_rest.html](http://hon.jp/doc/about_rest.html)）などをご参照いただければと思いますが、本ドキュメントではそれらを使う上で避けることができない、hon.jp 特有の URL 書式について解説していきます。

実際に手元の Web ブラウザを使い、試していただきながら本ドキュメントの内容をご確認ください。それから「hon.jp Web サービス API」の具体的な仕様を見ていただくとより理解が深まるものと思います。

株式会社 hon.jp システム部

## hon.jp システムにおける URL の目的

「hon.jp Web サービス API」で扱われる URL はすべて、電子書籍検索サイト「hon.jp」のシステムが内部的に使っているものです。もしデータベースを hon.jp の“心臓”だとするならば、ある意味この URL たちは hon.jp の“神経”に相当します。

電子書籍検索サイト「hon.jp」の最大目的は「迅速かつ正確かつ最短で、ユーザーが希望する電子書籍商品の購入ポイントへ誘導する」ことです。そのため、URL すべてが、それを目的に提供されています。

## 基本用語：「検索用 URL」と「ジャンプ用 URL」

hon.jp システムでは前述の最大目的を、下記の 2 つの URL を相互に使い分けることで実現しています：

- **検索用 URL (2 種類)**
- **ジャンプ用 URL (1 種類)**

前者はフリーワードや指定条件などを入力してデータベースの中から任意の電子書籍を見つけるために使います。一方、後者は見つけた電子書籍の販売ポイントへジャンプするために使います。

## 「検索用 URL」を理解する

検索用 URL には、次の 2 種類が用意されています：

PC 版「hon.jp」サイトで検索するためのもの

(書式) `http://hon.jp/search/3.0/{検索キーワード}/{hon.jp 作品 ID}/`

「hon.jp Web サービス API」で検索するためのもの

(書式) `http://hon.jp/rest/2.1/{検索キーワード}/{おともだち ID}/{条件パラメータ}`

さっそくそれぞれの実例をタイプして、どうなるか見てみましょう。Web ブラウザで、下記のとおり URL をそれぞれタイプ入力してみてください。

`http://hon.jp/search/3.0/%E6%9C%AC/null/`

`http://hon.jp/rest/2.1/%E6%9C%AC/aOENZ00002/`

※ちなみに「%E6%9C%AC」は「本」という日本語を URL エンコードしたものです。

※「aOENZ00002」は「hon.jp Web サービス API」のお試し用おともだち ID です。

わかりましたか？ はい、そのとおりです。前者は「本」というキーワードで PC 向け電子書籍検索サイト「hon.jp」の検索結果へユーザーを飛ばしたいときなどに使うためのものです。一方、後者は「本」というキーワードで、検索結果を XML データとして取得したいときに使うものです。

読者のプログラム・ユーザーに、フリーワード検索をさせたい場合は、そのときの用途に応じて、上記の 2 種類を使い分けるといいでしょう。

## 「ジャンプ用 URL」を理解する

ジャンプ用 URL には、次の 1 種類のみが用意されています：

指定した電子書籍作品の販売ポイントへリダイレクトするためのもの

(書式)

`http://hon.jp/code/1.0/{検索キーワード}/{hon.jp インスタンス ID}/{おともだち ID}/`

さっそくこれも実際の例をタイプして、どうなるか見てみましょう。Web ブラウザで、下記のとおり URL をそれぞれタイプ入力してみてください。

`http://hon.jp/code/1.0/null/0113377FAAF7070150000AAAHAB/aOENZ00002/`

※「aOENZ00002」は「hon.jp Web サービス API」のお試し用おともだち ID です。

わかりましたか？ たぶん、小学館の「大震災生存の達人・改訂版 あなたは生き残れるのか？」という電子書籍の、PC・XMDF 版の、ビットウェイ社サイトでの、販売ページ（販売ポイント）へリダイレクトされたものと思います。同じように、この作品の Docomo・XMDF 版へジャンプする場合は、やはり専用の URL を使うことになります。

「hon.jpWeb サービス API」ユーザーは、自作プログラムのユーザーを直接電子書籍販売ポイントに飛ばしたいときに、このジャンプ用 URL を使います。

## まとめ：「検索用 URL」と「ジャンプ用 URL」に分けた背景

では最後に、前々ページの「検索用 URL」と、前ページの「ジャンプ用 URL」の関係について理解しておきましょう。ここがもっとも大事なところですよ！

電子書籍はご存知のとおり、デジタルコンテンツです。複製コストが限りなくゼロに近いデジタルコンテンツの世界では、1つの書籍作品が、無数(∞)のデータ形式&無限大(∞)の数で膨張・発散していきます。つまり、どのような電子書籍も、10~50年という長期スパンで考えると、ハード・ソフト技術の両方の入れ替わりによってどんどんその数が膨張し、最終的にはカオス状態になることが容易に予想されるわけです。

そこで hon.jp では、個々の電子書籍作品が将来的にそのようなカオス状態になっても最低限の日々の管理・追跡ができるよう、C++や Java などのオブジェクト指向系プログラマー達の間で一般的になっている「クラス (ひな形)」と「インスタンス (メモリ上の生成物)」の概念を借りて、検索データベース上で電子書籍を次のようにモデル化して管理しています：

作品 == クラス 販売ポイントのある場所 == インスタンス
------------------------------------

つまり、「検索用 URL」はクラスの識別メタデータを取得するために使い、「ジャンプ用 URL」はそのインスタンスを取得するために使う、とイメージいただくと hon.jp の URL について、より全体像が理解いただけると思います。

以上、「hon.jp Web サービス API」で避けられない、URL についての基本解説でした。